【様式２】

学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書（記入例）

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生支援緊急給付金に申請するにあたり、次の①～⑥（留学生は①～⑤及び⑦）の申請要件について、満たしている項目を確認しました。

⑥

奨学生でない場合は、住民税非課税証明書又は課税証明書を準備。

④

ご家庭の状況について、申請書の「3申し送り事項」に事情を記入してください。

③

奨学金やアルバイト収入を学費・生活費に半分以上充てている場合は申請可能。

「自宅」であっても家族から学費・生活費の支援を受けていない場合は、申請可能。

学費・生活費の支援（仕送り）は

１５０万円を超えないことが目安。

ただし、薬学科は２２０万を超えないことが目安

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 要件チェック項目 | | チェック欄（ㇾ） | 金額  (年額) |
| ①家庭から多額の仕送りを受けていない　※１年生は家庭からの仕送り予定額、２年生以上は2019年度の仕送り年額を記載すること | | ㇾ | **130**  万円 |
| ②自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない | | ㇾ |
| ③生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い。※１年生はアルバイトでの収入予定額、２年生以上は2019年度のアルバイト収入額を記載すること**（年間）** | | ㇾ | **60**  万円 |
| ④家庭（両親）の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない | | ㇾ |
| ⑤コロナ感染症の影響でアルバイト収入（雇用調整助成金による休業補償を含む。）が大幅に減少（前月比50％以上）している | | ㇾ |
| ⑥既存制度について以下のいずれかを満たす | |  |
|  | １）高等教育の修学支援新制度（以下「新制度」）の第Ⅰ区分の受給者 | ⑤  前月比とは、通常月と減少月を比較。  50％減少していなくとも申請は可能。  「3申し送り事項」に事情を記入してください。  該当する項目一つにㇾ |
| ２）新制度の第Ⅱ又は第Ⅲ区分の受給者であって、第一種奨学金の併給が  可能な者にあっては、限度額まで利用している者又は利用を予定している者 |  |
| 3）新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であって、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者 |  |
| 4）新制度の対象外であって、第一種奨学金の限度額まで利用している者  又は利用を予定している者 |  |
| 5)要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度の利用を予定している者 |  |
| ⑦留学生等（日本語学校の生徒を含む）については、新型コロナウイルス感染症の拡  大に伴い、経済的に困窮していることに加えて、以下の要件を満たすことが必要。  　　1）学業成績が優秀な者であること。具体的には、前年度の成績評価係数が、2.30  以上であること  　　２）１か月の出席率が８割以上であること  　　３）仕送りが平均月額90,000円以下であること（入学料・授業料等は含まない。）  　　４）在日している扶養者の年収が500万円未満であること | |  |

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返金することに同意します。

虚偽の申請はしないこと

令和　２　年 ６　月　８　日

学校名　日本薬科大学　　　　　　　　学部/研究科名 　薬学部or 医療ビジネス薬科学科

学籍番号　 １９３７７７

署　名：　　**日 薬 太 郎**　　　　　＊本人自筆（印鑑不要）